



すこやか

み 見つけよう よ 喜びいっぱい し 支援センター

片づける力

0歳児～1歳児

大人の働きかけがないとできない。



箱の中に入れるだけなら、大人が働きかければできるもの、きれいに片づけるという概念はありません。分類して片づけるのは無理。

3歳児

おおざっぱな分類ならできるようになる。



形や大きさ、色がわかってくるので、おおざっぱな分類ならできるようになる。ただこのころは、直観的に物を見るため、間違った場所にしまうこともあります。楽しく片づけて毎日の習慣にしたい時期です。

ポイント

無理にやらせるよりも、遊び感覚で楽しくできる工夫の方が大事。頑張って片づけられたときには、「きれいになって気持ちがいいね」と十分に誉めてあげましょう。年齢の低い子や片付けが苦手な子には、お母さんや大人と一緒に片づけるようにしましょう。できるだけ分類を単純なものにして、好きなマークを目印にしたりするなど、片づけやすい環境を作っておくことも大切です。

2歳児

遊びの延長として理解をし始める。



遊び感覚で何度も経験していくことで、片づけを体で覚える時期です。「赤だけ持ってきて」という程度なら分類できるようになる。

4歳児～5歳

秩序がわかり、片づける力が身についてくる。



色や形だけでなく物事の秩序が理解できるようになり、順番どおりに並べたり、分類して片づけるのが上手になります。ただ力がついてくる分、手を抜いてさぼる子どもが出てくるのもこの時期です。

子どもに何度「片づけなさい」といっても片づけないとお悩みの方は多いのではないのでしょうか。片づけは、誰もが一生やり続けなければならないことなのに、きちんと習う機会がありません。そのため大人になっても『片づけられない』と悩む方がたくさんいます。そこで乳幼児期の『片づけの力はこう育つ』としてその特徴をお知らせします。

病気と感染症

冬は、感染症が流行する時期です。慌てず対応できるようにしておきましょう。できるだけ早く医師の診断を受けてください。

インフルエンザ

おもな症状

- ・突然の高熱(あまり熱が上がらないこともある)
- ・食欲がない。
- ・全身の熱感、筋肉痛や関節痛があり、2～3日で熱が下がっても、全身症状は1週間ほど続く。
- ・咽頭痛、咳、くしゃみ、鼻水、おう吐、下痢、腹痛などもある。

対処法

- ・水分補給を行い、暖かくして休ませる。
- ・室内を適度な温度(20～22℃くらい)と湿度(50～60%くらい)に保ち、定期的に換気を行なう。



溶連菌感染症

おもな症状

- ・舌に赤いぶつぶつができる(イチゴ舌)
- ・のどが腫れ、痛みを伴う。
- ・39℃前後の突然の発熱(あまり熱が上がらないこともある)
- ・発熱から2日後、口の周囲を除く全身にかゆみを伴う鮮紅色の小さな湿疹が出る。
- ・全身の倦怠感を伴う。 ※冬～7月くらいまで流行が続く。

対処法

- ・のど越しの良い食べ物を与え、水分補給をこまめにする



RSウイルス感染症

おもな症状

- ・軽い鼻かぜから始まる。
- ・高熱が出ることもある。
- ・湿った咳が出てゼーゼーと息をするようになる。
- ・重症になると、呼吸困難になることもある。
- ※最近季節に関係なく流行する傾向にある。

対処法

- ・十分な睡眠や食事をとり、水分補給をする。
- ・鼻水吸引をしたり、鼻をかませたりする。



マイコプラズマ肺炎

おもな症状

- ・鼻水が出る。
- ・乾いた咳が長時間続き、タンが絡みやすく、夜間の咳が目立つ。
- ・肺炎症状が進行しているときは、39℃前後の熱が続く。
- ※冬場の流行が主であるが、一年を通じて流行する。

対処法

- ・適度な室温、湿度を保つ。



感染症胃腸炎(ノロウイルス性胃腸炎の場合)

おもな症状

- ・発熱とおう吐、下痢を繰り返し、激しい腹痛が1～2日続く。
- ・尿の量が減り、脱水症状を起こしやすくなる。
- ・下痢便は酸っぱい匂いがして、粘液が混じっていたり白っぽかったりすることもある。
- ※流行時期は秋から冬にかけて。

対処法

- ・おう吐が治まってから、水分補給をする。
- ・消化の良い食べ物を与える。
- ・調理するときは、必ず石けんで手を洗い生の魚介類を処理したまな板は、熱湯消毒する。



